

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成30年3月9日(金曜日)	開 議 閉 議	午前10時00分 午後 0時 5分
出席委員	◎奥野 ○三上 田中 山本 竹田 小松 福井		
執行機関 出席者	藤村市長公室長、小栗人事課長、山内ふるさと創生課長、阿比留人事課給与係長、木村企画管理部長、浦財政課長、山本財政課副課長、今西財政課予算係長、大西総務部長、石田総務課長、森川自治防災課長、田中税務課長、谷税務課担当課長、井上自治防災課主幹、水主自治防災課消防係長、名倉総務課総務係長、田中会計管理室長、林財産管理課長、山崎財産管理課副課長、鎌江財産管理課公共施設マネジメント係長、山本教育部長、和田教育部次長、片山教育総務課長、土岐学校教育課長、河原社会教育課長、大石学校給食センター所長、内藤図書館長、中川教育総務課副課長、谷口学校教育課副課長、田中生涯学習部長、伊豆田市民力推進課長、三宅スポーツ推進課長、桂市民力推進課副課長		
事務局	片岡事務局長、山内事務局次長、船越副課長		
傍聴	可	市民 0名 報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 事務局日程説明

10:05

3 議案審査

(議会事務局 入室 (移動))

10:05～

【議会事務局】

(1) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

議会事務局長 あいさつ
議会事務局次長 説明

《質疑》

なし

10:08

(議会事務局 退室 (移動))

(市長公室 入室)

10:10～

【市長公室】

(1) 第68議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

市長公室長 あいさつ
各課長 説明

《質疑》

<福井委員>

10名の普通退職者があったということだが、退職の理由は。

<人事課長>

補正予算の事務処理上の関係で、1月末時点での見込みとして10名の普通退職者を見込んでいる。

退職の理由は、結婚やキャリアアップのための民間企業等への就職など、まちまちであるが、人事課としても優秀な職員が流出することが課題であると考えているので、働きやすく魅力的な職場環境づくりに努めていきたい。

<福井委員>

昨年も若手の優秀な職員が辞められるのが気になっていたが、昨年、今年と退職者が非常に多いように思っており、そのことを心配しているので、よろしく願います。

(質疑終了)

10:23

(市長公室 退室)

(企画管理部 入室)

10:25～

【企画管理部】

(1) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

企画管理部長 あいさつ
財政課長 説明

《質疑》

<福井委員>

減収補てん債がどのような場合に発行できるかは、説明いただき理解できたが、発行後は臨時財政対策債と同様に戻してもらえるのか。

<財政課長>

臨時財政対策債は実質的な地方交付税措置であり、その元利償還金は後年度の交付税で算入されるものである。

減収補てん債については、実際の税収額と交付税の基準財政収入額の差を埋めるためのものであるが、起債を発行すると、その元利償還金の75%について、後年度に交付税で措置されるものである。

<企画管理部長>

臨時財政対策債は、起債を発行してもしなくても、全額交付税措置されるものであ

る。

減収補てん債は、一旦借りた起債は後で精算されることとなり、借りたから必ず交付税に算入されるということにはならないので、少し臨時財政対策債とは仕組みが違うということになる。

減収補てん債は、借りても借りなくても、地方公共団体に入ってくる交付税措置上収入は変わらないが、どうしても借りないと収支が合わないという団体だけが借りてもよいという形になっているので、よろしく願う。

<福井委員>

財政調整基金の平成29年度末の見込みはどうか。

<財政課長>

財政調整基金は、平成29年度に9億3000万円の繰入金を予算措置しているが、今の時点では、基金の取崩し額を見込み難い状況であることから、現時点での平成29年度末の財政調整基金の残高見込みは、10億3000万円である。

(質疑終了)

10:35

(企画管理部 退室)

(総務部 入室)

10:37～

【総務部】

(1) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

総務部長 あいさつ

各課長 説明

《質疑》

<福井委員>

P29の商業統計調査について、この調査はもともと国・府からの依頼があって、それがなくなったということか。

<総務課長>

この調査は、国が指定する統計調査として平成30年度に実施予定であり、その準備経費として今年度に予算計上していたが、国の統計調査見直しの中で、今回、中止が決定したことによるものである。

<福井委員>

P11、衆議院議員総選挙及び国民審査事務委託金の減額の内容は。

<総務課長>

当初は3800万円計上させてもらっていたが、これは最大限を見積もった金額である。

ほとんどが人件費の減額であり、開票時間、候補者の数、個人演説会の回数等によっても変わってくるが、最終的にかかった経費が3047万9千円となり、今回、その差額を減額させてもらったものである。

<福井委員>

予算の執行を工夫したことによる減額ではなく、先ほど説明された内容により減額となったということか。

<総務課長>

国からの委託事務であり、実際にかかった経費を国から受けているものである。
(質疑終了)

10:50

(総務部 退室)

(会計管理室 入室)

10:52~

【会計管理室】

**(1) 第79号議案~第85号議案 平成29年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算
(第1号) 他6財産区特別会計補正予算**

会計管理室長 あいさつ

財産管理課長 説明

《質疑》

<田中委員>

篠財産区の歳入で、受託事業収入が減額となった理由は。

<財産管理課長>

国立研究開発法人 森林組合研究所森林整備センター近畿北陸整備局からの受託事業収入であるが、分収造林事業に係る作業代金の予算配分減少によるものであると、地元からは聞いている。

<田中委員>

委託する側の予算が少なくなったということか。

<財産管理課長>

受託事業収入が減額となり、それに合わせて分収造林事業の山林作業委託料についても減額となったものである。

(質疑終了)

11:04

(会計管理室 退室)

(休憩)

11:04~11:10

(教育部 入室)

11:10~

【教育部】

(1) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

教育部長 あいさつ

(放課後児童会の取組みの現状について報告)

<教育部長>

放課後児童会については、支援員等のご理解、ご協力のもとに実施しており、これまでから対応可能な部分から充実させていただいている。

1年生から6年生の全学年の受入れについては、現在、安詳小学校、千代川小学校、つつじヶ丘小学校の3校が年間を通しての受入れができていなかったが、継続して各学校とも協議を行う中で、今回、3校とも実施場所の調整ができたところである。実施に際しては、関係規則の改正について教育委員会で承認を受けたのち、周知等を行って、申請、受付、入会許可ということになるが、3月下旬の教育委員会を待っていると、年度当初の入会が難しい状況となるので、保護者の皆さんには、実施予定ということで周知を図らせていただき、希望者の受入れができるように事務を進めていきたいと考えているので、ご理解を願う。

なお、この件については、教育委員の皆さんにも事前に了承をいただいている。

各課長 説明

〈質疑〉

〈福井委員〉

P9で、就園奨励費補助金の減額をされているが、この補助金の当初予算額はいくらであったのか。

〈教育総務課長〉

歳入の方の当初予算額でよかったか。

〈福井委員〉

歳入、歳出にこだわらず、就園奨励費の当初予算額はいくらであったのか。

〈教育総務課長〉

当初予算額はわからないが、今回の減額補正前の就園奨励費の予算額は9729万8千円である。

〈福井委員〉

P63で、放課後児童会の支援員報酬が減額となっており、支援員の人数が少なかったことによるものと心配するが、放課後児童会の運営は大丈夫か。

〈社会教育課長〉

今年度の当初予算では、52名分の支援員報酬を見込んでいたが、昨年度末に5人退職され、44人からスタートして、現在、47人となっている。今年度は3人を増員しているが、6人分程度の額が不用であったということで、減額補正するものである。

今のところ退職者は出ていないが、年度末退職の可能性もある中で、来年度から全校で全学年の年間を通しての受入れも実施しようとしているので、今後とも、適正な体制になるように努めていきたい。

〈小松委員〉

P13で、「学力向上システム開発校」推進事業や、「法やルールに関する教育」研究指定事業について、指定が受けられなかった理由は何か。

〈学校教育課長〉

平成28年度に、「学力向上システム開発校」については千代川小学校が指定を受け、「法やルールに関する教育」研究指定は大井小学校で受けていた。

亀岡市教育委員会としては、平成29年度も他の学校で指定をお願いしていたが、2市1町を所管する南丹教育局の予算の関係で、指定が受けられなかったということである。

<田中委員>

P 6 1、P 6 3で、小・中学校の空調設備の予算が計上されている。
小学校で3校、中学校で1校ということだが、どこの学校でも施工時期が一緒になると思うが、これだけの金額の工事を市内の業者に発注することができるのか心配である。その辺りのことはどうか。

<教育総務課長>

平成29年度には、中学校5校の空調設備工事を実施したが、夏休みの期間に集中して、各校で実施したところである。それぞれ学校の状況によって、若干、完了時期は異なるが、概ね9月中旬には、ほぼ工事は完了となった。
今回、予算計上させてもらっている空調設備工事については、繰越して平成30年度に実施することとなる。時期についても学校活動に影響が出ないようにということを考えると、どうしても夏休み期間中となるが、件数は平成29年度に比べて1校分少ないので、昨年度の事例からも実施はしてもらえものと考えている。

<田中委員>

工事はできると思うが、市内業者に発注できるかどうかの見通しについてはどうか。

<教育総務課長>

契約担当課とも調整しながら、十分配慮していきたい。

<田中委員>

平成29年度は、すべて市内業者に発注されたのか。

<教育総務課長>

それぞれ共同企業体を構成していただき、受注いただいた。

<田中委員>

共同企業体はすべて市内業者であったのか。

<教育総務課長>

そのように認識している。

<竹田委員>

昨年も夏休みに工事が集中したと思うが、十分に余裕を持った工期の見通しはどうか。

<教育総務課長>

昨年の中学校での実績を踏まえ、十分注意して進めていきたい。

<竹田委員>

工期に十分余裕を持って、業者に無理のない施工をしていただけるように要望しておく。

新電力の関係で、図書館と文化資料館の電気代が増額となる理由を説明願う。

<図書館長>

増額となる理由については、毎年4月1日なり2日の検針日となるので、その分は4月分として次年度の支払いになっていたが、本年は3月31日が検針日となるので、3月分を2回支払わなければならなくなるので、その分が増額となる。

(質疑終了)

11:40

(教育部 退室)

(生涯学習部 入室)

11:42～

【生涯学習部】

(1) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

生涯学習部長 あいさつ
各課長 説明

《質疑》

<福井委員>

亀岡会館と中央公民館は、一体的に除却工事をされると思うが、亀岡会館の除却工事にのみ交付金がついてきているということによいか。

<市民力推進課長>

そのように理解していただければよい。

ちなみに、亀岡会館と中央公民館の除却工事は合併入札を予定しており、その契約案件は、議会で承認いただくこととなる。

(質疑終了)

11:57

(生涯学習部 退室)

4 討論～採決

(委員間討議なし)

《討論》

なし

《採決》

<奥野委員長>

賛成者は挙手願う。

第68号議案(一般会計補正予算)

挙手全員

可決

第79号議案～第85号議案(亀岡財産区ほか6財産区特別会計補正予算)

挙手全員

可決

《指摘要望事項》

なし

<奥野委員長>

委員長報告については、正副委員長に一任願う。

次回、3月12日(月)の委員会で確認願う。

— 全員了 —

12:00

5 その他

(1) 他都市先進地行政視察について

<奥野委員長>

他都市先進地行政視察については、次回以降で協議願うこととする。

(2) 次回の日程について

<奥野委員長>

次回の日程については、3月12日(月)午前10時から委員長報告の確認、午後からは引続き付託議案の審査を行う。

散会 ～12:05